

群馬県利根郡みなかみ町 MINAKAMI DIET NEWS

みなかみ議会だより

6月定例議会

平成23年度補正予算 一般会計・特別会計 3

町政を問う 一般質問9人 4

24号

平成23年(2011年)

8月1日発行

6月 2日から10日の9日間の会期で 開催されました。

定例議会

報告4件・諮問2件・23年度補正予算1件
条例改正3件・規約変更1件・その他1件

議案可決

九人の議員が、「防災・危機管理」「行政サービス」「町の活性化」「農林業」等について、一般質問しました。(四頁) (一三頁)

報告

●平成二十二年度繰越計算書

◇一般会計繰越明許費

◇一般会計事故繰越し

●社の経営状況

◇(財)新治農村公園公社

◇みなかみ町土地開発公社

※関連記事3頁

議案

●群馬県市町村総合事務組合の規約変更

●町税条例の一部改正

●町生活管理短期宿泊事業

費用徴収条例の一部改正

●町下水道条例の一部改正

●平成二十三年建設機械整備事業除雪ドーザ

(二一七級)購入契約の

締結

(すべて全会一致可決)

諮問

●人権擁護委員の候補者の推薦

次の人を推薦しました。

手塚 誠さん (大穴)

高橋久江さん (月夜野)

(全会一致同意)



松食い虫などの害から山林を守る

みなさんからの 請願・陳情 審査結果一覧

No.	受理年月日	件名	提出者	付託委員会	審議結果
請願	7	22.11.18 水上児童館に運動のできる安全な庭を造ることにする請願 (継続審査分)	谷川556 松本ひろ子 ほか賛同者25人	厚生	採 択
	3	23. 5.27 松くい虫防除についての請願	下津2080-2 中村区長 高橋 秀次	産業観光	採 択
	4	23. 5.27 ゴミ0 (ゼロ) についての請願	上津2005-1 高橋 貞雄	厚生	不採 択
	陳情	3	23. 5.27 東日本大震災風評被害及び自粛軽減に関する陳情書	後閑2623 (株)サカト産業 代表取締役 坂戸 純一 ほか賛同者1610人	産業観光

もくじ

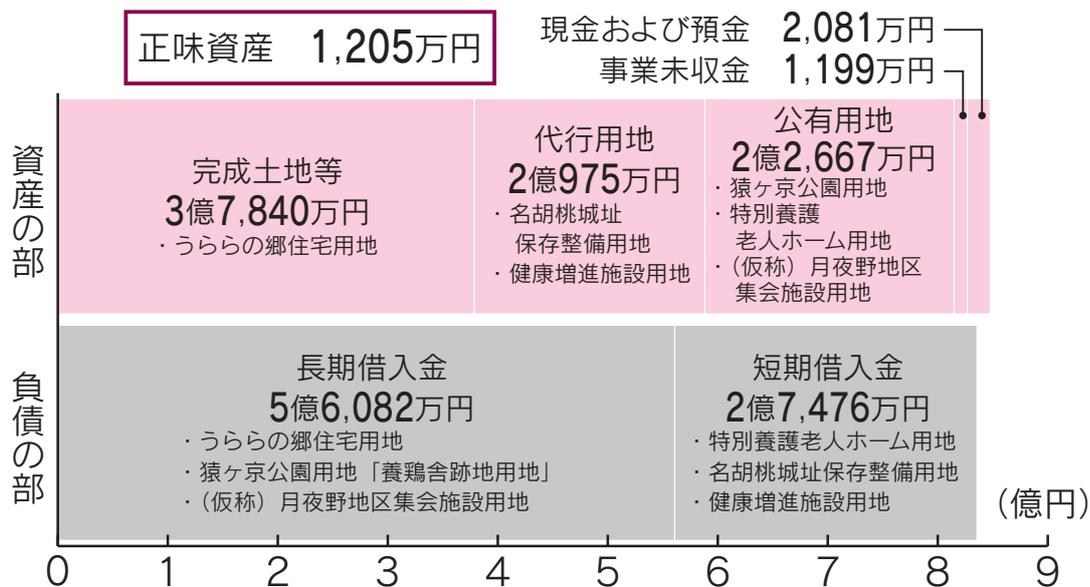
6月定例会 2
 一般質問 4
 追跡記事・議会の動き 14
 町民ひろば 15

●表紙写真/谷川岳ウィーク (一ノ倉沢野点)

23年度補正予算 (6月補正/全会一致可決)

項目	補正額	主な内容	総額
一般会計	7,456万円	小水力発電施設調査設計業務委託料/100万円 赤谷川沿岸土地改良区総代選挙費/52万円 環境衛生総務費/127万円 月夜野は一べすと費/126万円 農村公園施設費/115万円 除雪費/6,925万円 教育総務費 11万円	124億2,456万円

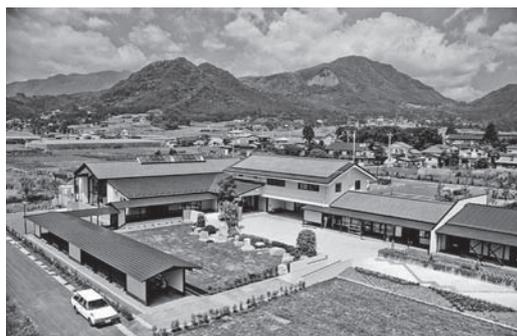
●みなかみ町土地開発公社 (平成23年3月末現在)



公社の経営状況報告について

●(財)新治農村公園公社

(平成22年度決算)



前期繰越収支差額	△399万円
当期収入合計	3億5,013万円
当期支出合計	3億5,687万円
当期収支差額	△673万円
次期繰越収支差額	△1,072万円
資産合計	3億651万円
負債合計	9,618万円
正味財産	2億1,033万円

9人が質問を行いました。

主な内容

- 林 一彦 ①みなかみ町の防災体制の見直しと
総合防災訓練について
- 阿部 賢一 ①危機管理と防災対策について
- 内海 敏久 ①新規就農者にみなかみからの援助を
②首都圏の水源を外資による山林買収防止
- 原澤 良輝 ①町の防災対策等について
②町の花「やまぶきの里」づくり等について
- 島崎 栄一 ①猿の動物園をつくる
②粗大ゴミを町民が捨てやすいように町はどのように
支援しているのか
- 中島 信義 ①洪水ハザードマップの作成について
- 中村 正 ①（株）デサントや外部資本との
これからの交流の仕方について
- 鈴木 勲 ①群馬DCの成功を
②南区諸施設について
- 前田 善成 ①地域医療のこれからについて
②住民の町政参加の継続を実現する
支援や協力について



東日本大震災被災者の受入



防災訓練の炊き出し風景



林 一彦 議員

災害対策の見直しと強化必要では

町長 震災検証を踏まえ進めていく

問 三月十一日の地震発生からの町の対応についてお聞かせください。

答 町長 十一日の本部を設置し各課が所管の施設等の被害状況等を確認したところ、各課の被害なしの報告でした。

三月十一日の地震発生からの町の対応についてお聞かせください。

本部を設置し各課が所管の施設等の被害状況等を確認したところ、各課の被害なしの報告でした。

十一日の本部を設置し各課が所管の施設等の被害状況等を確認したところ、各課の被害なしの報告でした。

十二日の早朝、新潟県中越地方に震度六弱の地震が発生しました。道路・水道・農地等、町内において直接的被害がないことを確認しました。十三日に東電から輪番

停電を明朝から行うとの発表があり、改めて停電が実施された場合の対応を学校関係者との協議、また、ガソリン等の燃料不足に伴い、各スタンドの在庫状況の調査等の緊急時の対応の調整を実施。十四日、政府から不測の停電を防ぐため節電協力の発表があり、無線・オフロードで住民への周知を図りました。十五日には被災者支援事務局を設置し、被災者支援を行いました。

問 本町はダムの多い町ですので、最悪の状況を想定した災害のシミュレーションなど防災計画に入れなければなりません。

また、災害警戒本部設置にあたり、関係者の連絡方法の見直しと強化、情報収集の方法、住民、職員へのマニュアルの強化が必要と思いますが。

また、災害警戒本部設置にあたり、関係者の連絡方法の見直しと強化、情報収集の方法、住民、職員へのマニュアルの強化が必要と思いますが。

また、災害警戒本部設置にあたり、関係者の連絡方法の見直しと強化、情報収集の方法、住民、職員へのマニュアルの強化が必要と思いますが。

答 町長 今回の震災の諸事情を検証し、

みなかみ町地域防災計画を見直します。また見直しの中で、災害の種類・災害発生時の時間、それによる交通障害といったような要因を想定し、また地域ごと災害別に改めて防災計画を作成する必要がある。

また災害発生時に職員が適切な対応をとるのに必要なことを整理し、職員の初動対応マニュアルを新たに作成します。そしてこれに沿った簡易的な訓練を実施し、初動における職員の対応を身につけてもらいます。

問 町民をも巻き込んだ、例えば、消防団・婦人会・民生委員・学校児童生徒・要援護者・観光客等の避難を含めた全町的な総合防災訓練の定期的な実施の必要があると思いますが。

また、災害警戒本部設置にあたり、関係者の連絡方法の見直しと強化、情報収集の方法、住民、職員へのマニュアルの強化が必要と思いますが。

答 町長 総合的な防災訓練についても検討していきたい。

阿部 賢一 議員



町の危機管理と

防災対策の現況は

町長 必要な部分を順次整備していく

蓋のない防火水槽 転落事故などの危険がある



町で作成した防災マップ

人間では限界があります。重機等を所有する建設業協会との協定は、どのようになっていますか。

町長 災害時、建設業者には非常に重要な役割を果たしていただいております。協力は不可欠です。平成二十年九月に町建設業協会と災害応急対策業務に関する基本協定を結んでいます。

ダム決壊も想定外でないと考えた場合、避難所マップを含め防災計画の見直しも必要ではないかと思っております。

町長 異常があれば連絡する体制になっています。

地区住民へ情報提供をしつかり行いながら個別にチェックし、整備すべきものは順次整備していきます。

町長 異常があれば連絡する体制になっています。

町長 災害時、建設業者には非常に重要な役割を果たしていただいております。協力は不可欠です。平成二十年九月に町建設業協会と災害応急対策業務に関する基本協定を結んでいます。

町長 異常があれば連絡する体制になっています。

町長 今まで水とアルファ米三〇〇〇食分を三地区に分けて備蓄していました。今回の震災に対する支援物資として全て活用しました。

町長 改修の必要がある場所については、早急に進めていきたい。

その対応は次に検討する必要があります。

町長 改修の必要がある場所については、早急に進めていきたい。

町長 道路等が災害時被害を受ける可能性が非常に高く、迂回路がないといった孤立しやすい集落は、奈女沢・後閑穴切・水上の中部北部（八地区）・川古・法師の十三地区が可能性があると把握しています。

町長 改修の必要がある場所については、早急に進めていきたい。

地震に限らず、集中的ゲリラ豪雨等により土砂災害や河川の氾濫等が大変心配されます。

町長 今年度一〜二基が予定数量です。地区へ行き、現場を見ながら対応していきます。

職員訓練状況はどうか。

町長 今年度一〜二基が予定数量です。地区へ行き、現場を見ながら対応していきます。

初動マニュアルを作り、それに基づいて初動訓練を改めて行いたい。

町長 今年度一〜二基が予定数量です。地区へ行き、現場を見ながら対応していきます。

初動マニュアルを作り、それに基づいて初動訓練を改めて行いたい。

町長 今年度一〜二基が予定数量です。地区へ行き、現場を見ながら対応していきます。

初動マニュアルを作り、それに基づいて初動訓練を改めて行いたい。

町長 今年度一〜二基が予定数量です。地区へ行き、現場を見ながら対応していきます。

内海
敏久
議員



新規就農者支援のために町ができることはないか

町長 現行制度ベースに相談受ける形で



真沢地区での農業体験

問 農業を取り巻く現状は非常に厳しい状況下にあります。

新規就農者は一人か二人ですが、貴重な就農者に町として何かしてやれることがあるのではと思っていますが。

答 **町長** 新規就農者に対する支援制度

ができていますので、これらの活用について町として相談に乗る等々の形で、総合的に支援していくというのが基本的な考え方です。

問 岩手県の岩泉町では、農業後継者に

支援、月額十万円を三年間交付するという記事がありました。みなかみ町ではまだ必要はないでしょうか。

答 **町長** 直接個人に

対する支払いという形での支援というのは、まだ考える段階にはないと思っています。

■水源地としての山林保全
外資による買収防ぐ仕組みづくりを

問 条例を作り、簡単に山林を売買できなくしてほしいと思いますが、町長の考えを聞かせてください。

答 **町長** 森林買収の規制に関する要望書を、総理大臣・農林水産大臣・国土交通省等の大臣に提出しています。また、私も役員をしている水源の里協議会では、同様の要望書を出す準備をしています。

町としては、地域の山林を守り育てていくのは大事な責務であり、「水と森の防人宣言」を行っています。

問 私の知り合いが旧水上町に山林を持っています。その人、もし買手がいればいつでも売ると言っています。

答 **町長** 買い取ると言うことになれば、予算措置等々で議員の方々に相談します。



山林の保全により水源は守られている

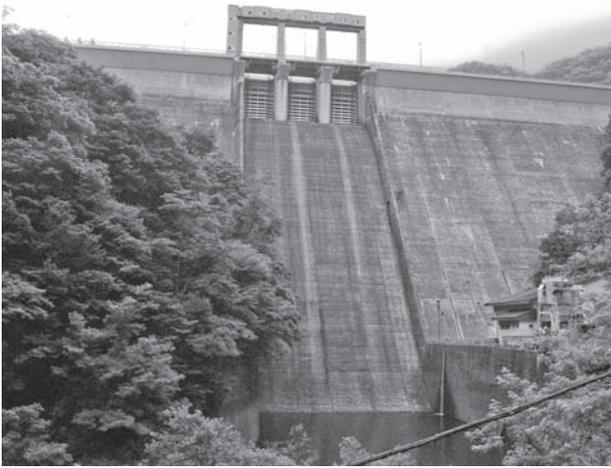
原澤 良輝 議員



震災被害を踏まえ 町内ダムとため池の防災対策を問う

町長 懸念事項は情報公開求めていく

町内には農業用などでいくつものため池が整備されている



藤原ダム

問 東日本大震災に私達は常識を変えなければならぬほど衝撃的な教訓を貰いました。地震だけでなく津波の水の力に改めて恐怖をいだきました。

また、絶対事故は起こらないと「安全神話」を

盲信し、事故対策を怠った原発も、事故の収束とエネルギー政策の転換を促すことに成りました。

利根川上流の五つのダムとため池の防災対策はどうなっていますか。

答 町長 ダム管理者(国等)はダムが壊れることを想定していません。

地震の時は点検します。人員配置や時間、水が抜く場合にゲートは動くか、心配の点は管理者と相談します。安全性に関する情報は、きちんと町に連絡するよう要望します。

ため池は群馬でも二カ所でクラックがありました。地元から修理要望のあるため池は至急対策に

取り組みます。また、防災マップの避難所はきちつと見直します。

問 公共施設や個人住宅の耐震対策はどうでしょうか。

答 町長 耐震改修は水上支所、新治支所、観光会館が早急にする必要があります。個人住宅は町が助成して、認定診断士の耐震診断を

行うことから耐震改修を検討してほしい。

問 原発事故による放射能対策について町長の考えをお聞きしたい。

答 町長 町は空中放射線量を四月中旬から測定し、公表しました。緊急の場合、町民には職員と地域の区長等と協力してお伝えします。

■町シンボルの花木 観光や教育に活用しては

問 町の花「やまぶき」、町の木「ふな」を利用し、観光名所作りをしてはどうでしょうか。また、教育に利用しては

答 町長 町づくり協議会や地域でする活動を町は支援します。

島崎
栄一
議員



田畑を襲う猿は 全て捕獲すべき

町長 個体数減らさなければいけないと思う

問

町には猿が二百匹以上いると推測され、農業に莫大な被害を与えています。その対策は緊急で重大な町の課題です。

根本的な解決には猿のいない以前の状態に戻すことが必要です。みなかみ町の八割は森林で、二割は田畑です。その二割の田畑に進入する猿は全部捕獲し、猿のいない地域にするべきでしょう。そうすれば農家は安心して暮らせます。捕獲した猿は動物園に入れ、観光目的に使います。

答

町長 猿は学習能力が高いため、

人里に慣らしてはいけません。繁殖力が高いので農地に依存させてはならない、適切な捕獲をしなければならぬと聞いています。

猿を観光に利用できないかということ、なかなか条件的には厳しいかと思いますが、勉強していきます。いずれにしても、猟友会等の協力を得ながら、個体数を減らしていかなければならないと思います。



捕獲されたニホンザルの親子



群れて人里に現れることも多い

■粗大ゴミの処理

シルバー

人材センター

活用の周知を

問

車のない町民が、粗大ゴミを捨てた時、社協を通してシルバー人材センターに頼むと安く捨てられます。

町はこのことをもっと広報するべきです。

答

町長

ご指摘の通り、粗大ゴミを運ぶ手立てがない人は、シルバー人材センターを利用し捨てられます。社協等とも相談しながら、その活用を十分に町民に知っていただけるように、広報のやり方を考えるのは重要だと思いますので、検討させていただきます。

中島 信義
議員



豪雨により水位が異常に上がっている利根川（平成20年4月）
下は同地点の平常時の様子



洪水に備え 新たな防災マップ必要では

町長

該当地域住民と相談しながら

問

現在、住民に配布されている洪水ハザードマップは、昭和二十二年七月に発生したカスリーン台風による洪水を元の後閑、真政地区以南のマップです。

その後、洪水調整を含めた大きなダムが利根川・赤谷川に建設され、ダム機能が発揮されています。

しかし、想定を遙かに超える巨大エネルギーによって引き起こされた地震・津波は他人事ではありませんが、数多くのダムを抱え、大量の水を貯めているこのみなかみ町は、人災による津波（洪水）が起こる確率はゼロではないと思います。

近年の異常気象による大雨は予想を遙かに超え

ることもあります。昭和五十八年七月は一日で二六二ミリの大雨、現在奥利根地域の最大雨量です。また平成十年八月の土石流災害時は、三〇四日で四五〇ミリにも達しました。

そうした過去のデータを踏まえて、新たな洪水ハザードマップの検討を進める考えはありますか。

答

町長 町の防災計画の見直しについては、観光立町であることを踏まえて進めて行く必要があると思っています。

ハザードマップは、自然災害を予測してその範囲を地図にするものです。今、町に義務づけられている土砂災害ハザードマップとは別に、国交省が定めている浸水想定区域を基に周辺地区の住民と相談しながら避難道路・避難場所等効果的な洪水ハザードマップを作ることができればと思っています。

中村

正議員



町外資本との交流 どう進めていく

町長 双方にメリットもたらすように



(株)デサントの役員を招いて行われたまちづくり講演会

問 過日、(株)デサントの執行役員の方の講演会があり、今後町で行われるイベントに参加すると言うことですが、町としてどう対応しますか。

答 **町長** 具体的には(株)デサント・(株)ドールジャパンとの間でお互い町も企業側もメリットが生じるような対等な関係の中、企業としては広報活動や社会貢献活動を行い、町としては町づくりに生かしていきたい。

たいと言うことで検討を始めています。
また、八月二十八日に開催する藤原湖マラソンは、冠スポンサーとして参画することで、参加者募集も始まっています。
さらにデサントにおいては、この先五年間に数百万円の予算を、町との共同事業に使うという経営判断をしていると聞いています。

問 外部資本との窓口は。

答 **町長** 観光のイベントであるとか、農業あるいは教育等多方面に関与してくるので、内容を吟味し関係部署とも連携し相手に素早く回答するという点から、総合政策課に担当させるのが適当であると判断します。

問 藤原湖マラソンに冠スポンサーが付くことにより、町の予算計上分は減額されるのでしょうか。

答 **町長** 企業にも、町にもメリットがある形で拡大していく方向を是非追究して、町の予算が少なくても運営できる体制を狙っていきます。

問 今後、企業の仲立ちでスポーツ選手、有名人が訪れると思われる中、スポーツ施設を充実していかなければと思いますがどうでしょう。

答 **町長** 人工芝のサッカー場という請願が出ており、議会で採択されているのは承知しています。
現在の所どこを候補地にするなど、内容を具体的に詰めてはいませんが、今後も検討を重ねさせて戴きたいと思えます。



鈴木

勲議員



DC開幕後SLが重連運転を行った水上駅転車台付近の賑わい

DCの成功に向け 町はどう取り組むか

町長 節電逆手にとり避暑をアピール

問 県内観光地も大震災後宿泊のキャンセルが相次ぎ、かつてない危機的な状況となっています。

七月から群馬デスティネーションキャンペーン（以降、DC）が開始されています。町内の温泉地の誘客が増え、元気になり活気が出るために、ともにDCを成功させるために、町の考え方、推進方法を伺います。

答 **町長** 観光立町みなかみ町として、群馬DCを成功させようと積極的に取り組んでいます。

具体的には、県とJRグループ六社と連携し、国内最大観光キャンペーンで全国から観光客を誘致することを目的としており、町ではこの夏の節電を好機としてとらえ、夏涼しいみなかみ町をPRしたい。

谷川岳天神平「星の鑑賞会」一ノ倉沢エコツアー、利根川源流ツアー、アウトドア・アクティビティ体験等々、例年実施しているホタル鑑賞会、藤原湖マラソン、おいで祭り、赤谷湖花火大会など実施します。

JR高崎支社では、S&Lとレトロ客車との組み合わせなど多彩な運行を行います。

そのほか、観光ガイドがおもてなしの準備をしており、DCは町の皆様の協力を得ながら進めたい。



地元産の新鮮な食材を使った料理もPRポイントの一つ

問 みなかみ町は自給自足の食文化が豊富です。しかし、原発事故の影響で野菜の風評被害が心配されます。安全性について伺います。

具体的には、県とJRグループ六社と連携し、国内最大観光キャンペーンで全国から観光客を誘致することを目的としており、町ではこの夏の節電を好機としてとらえ、夏涼しいみなかみ町をPRしたい。

谷川岳天神平「星の鑑賞会」一ノ倉沢エコツアー、利根川源流ツアー、アウトドア・アクティビティ体験等々、例年実施しているホタル鑑賞会、

答 **町長** 地域の農作物・食べ物を通じて多くの方に食べていただき、みなかみ町に来て良かった・安心・安全という観点から、広報の方法について改めて検討していきます。

地域医療の今後に対する 町の方針を問う



前田 善成 議員

町長 広域での医療を充実させたい



町の健診の様子

問

医療に対する関心、訪問医療や検診に対する要望があり、緊急医療を地域で対応する事を望んでいます。医療は、行政単位の一

次、利根中央病院などの二次、救急病院の三次医療権の様に区分されます。県も、一・二〇億円の交付金を貰おうと、提案を求め、広域市町村圏組合の

方で、提案書を提出の際、この地区の病院に説明や計画作成を求めたか、又、地域の病気の発生の特定診療報酬の内容の合同調査を伺います。

答

町長 現在医療活動を展開されている方へ、支援していきたい。

問

利根沼田は、病院のベッド数は足りていますが、医師の充足率は、全国平均が一・一四、利根郡は一・二六とかなり低く、町も一次医療圏の充実が必要です。個人の開業支援、地元の医学部の希望者への補助、専門医を同じ地域にまとめ、患者の診療を行なうメデイカルビレッジについて伺います。

又、町の病院を中核病院にすること、それを利用した町の施設や土地の有効活用を伺います。

答

町長 医師不足は存じていますが、メデイカルビレッジも医師の確保が難しい。中核病院に発展させることや活用については、病院の方々の意見交換の機会を設け、勉強していきたい。

問

六十五歳の人口の割合が、二〇五〇年に四割になります。これは、国民年金、健康保険だけでなく、医療費に関与し、隠れ債務になり財政の圧迫になるので考えてほしい。

答

又、経営審査、企業の税金控除に利用でき、役場の職員が活用できる認定NPOの活用や建設工事の受注者に寄付を指導し自立の方策を伺います。

答

町長 NPO支援や職員の活動などは実際の活動を配慮しバランス良く進めていきます。



追跡

消防協力員の実績(最終回)

(平成二十年六月定例会・初回)
(平成二十二年十二月発足・中間)

七月一日現在、みなかみ町には消防団員の活動を支援する消防協力員として行政区長及び分団長から推薦され登録している方が一五名います。ほとんどの方が消防団のOBであり、三十代から六十代までと幅広い年齢層の方が登録されています。

今年度に入り春先に野焼き等による火災が多発していますが、どの火災においてもいち早く現場に駆けつけていただき、水利の確保や放水活動の支援などによる初期消火活動に努め被害の軽減に貢献していただきました。また、地元の消防団員と定期的に会合を持つたり、消防資器材の操作方法取得を兼ねて消防団員との連携訓練等を実施するなど積極的に活動を展開されています。



消防ポンプ操法競技会

これからも消防団員とともに、地域の安心安全のために活躍していただくことが期待されています。

議会の動き

*平成23年5月～7月

※議会議員および議長が出席した行事

5月	6(金)	小中学校教育研究会総会
	8(日)	水上温泉旅館協同組合定期総会
	9(月)	町ゲートボール協会春季大会
	13(金)	議員協議会 学校組合議会 公衆衛生協会新治支部総会
	16(月)	椎坂トンネル2号トンネル貫通式 郡議長会長選出(書面議決)
	17(火)	議長・副議長研修会(～18、東京)
	18(水)	ホテルを守る会役員総会 北部防火協会総会 商工会女性部総会
	19(木)	部落解放同盟群馬県連合会定期大会
	23(月)	広域議会臨時会 学校組合議会
	25(水)	高齢者等支援ネットワーク連絡協議会
	27(金)	一般質問・請願・陳情締め切り
	30(月)	利根地方総合開発協会理事会・総会 17号バイパス促進期成同盟会定期総会
	31(火)	議長・事務局長研修会(～6/1、東京) 民生委員・児童委員協議会総会
	6月	1(水)
2(木)		議会運営委員会 みなかみ祭り第1回実行委員会
3(金)		町ゲートボール協会町長杯争奪戦
5(日)		町俳句大会(カルチャーセンター) 平標山山開き 利根沼田消防ポンプ操法競技会

6月	6(月)	遺族の会利根郡支部役員総会 (文化会館、郡議長)
	7(火)	第4回みなかみ町議会6月定例会(開会日)
	8(水)	第4回みなかみ町議会6月定例会(一般質問)
	9(木)	議会運営委員会 全員協議会 各委員会
	10(金)	群馬DC首都圏説明会
	15(水)	議会運営委員会 第4回みなかみ町議会6月定例会(閉会日) 全員協議会 みなかみ町工場設置奨励審議会
	17(金)	ホテル等水棲生物の供養 武尊山山開き(片品)
	18(土)	小学生総体ホッケー大会
	23(木)	土木行政懇談会
	25(土)	月夜野ホテル観賞の夕べ
7月	2(土)	谷川岳の日制定記念式典
	3(日)	谷川岳山開き
	4(月)	議会だより編集特別委員会
	5(火)	非核平和行進
	11(月)	議会だより編集特別委員会
	14(木)	広域議員協議会 15(金) 広域定例調査会 議会だより編集特別委員会
25(月)	広域議会定例会	
28(木)	広報研修会(～29、東京)	



絆

小川里山の会 会長
石坂 幸男 (小川)

私の親の代では、主として養蚕、水田などで生計を立てていましたが、今では専業農家も少なくなり、若者の農業離れが進み、農地が荒れつつある状況です。また、作物を作っても

サルやイノシシなどに田畑が荒らされ、収穫できないという現実も多く見受けられるようになりました。

そこで何らかの対策を講じなくてはならなくなり、中山間地利用組合では農地の周囲に柵を廻らせたところ、被害が

軽減したため、今後の対策を考えられている時期に、農業体験事業をしてもらえないかと役場から要請がありました。

当然、個人では受け入れが困難、

地区の有志に話を持ちかけたところ、受け入れを実現させることができました。以来、東京の成城学園初等学校の児童たちの稲作体験が、毎年行われるようになり、今年で六年続いています。これを機に、小川里山の会を発足することになりました。

小川里山の会の会員は、水沼集落・森原集落の行政区の有志（現在四十四名）で構成されている、ボランティア団体で、地区のために多くの活動をしています。

話は戻りますが、成城学園の初年度の児童の中に、水戸黄門で八兵衛役であった高橋源太郎さんのお孫さんがいたことから、源太郎さんに講演会

を依頼した所、快く受けていただきました。

小川里山の会発足記念講演会として、里山の会員自らの手作りという型で、発券・広報を行い、そして町のカルチャーセンターにおいて、記念講演会を成功させることができました。

これらの活動内容が、地元の町会議員さんをはじめ町役場の農政担当の方々のご尽力を戴き、昨年十一月にさいたま市で行われた農林水産大臣賞関東ブロック関東農政局長賞という素晴らしい賞を戴くことができました。

それを励みに、これからも会員一同絆となり、活動を続けて、地域の活性化につなげていければと思っています。

小さな事がやがて大きな型として残り、後継者が興味もなくなり若者たちが興味を持つて、住みよい地区をつくっていきけるよう、努力を重ねていけたらと思います。

議会を傍聴してみませんか？

◆9月の定例会は、7～16日を予定しております。

一お問い合わせは—
議会事務局まで
☎25-5023(直通)

議会だより編集委員会

- ◆委員長 鈴木 勲
- ◆副委員長 阿部 賢一
- ◆委員 小林 洋 内海 敏久
中島 信義 林 一彦

議長・議員表彰

- ◆議長4年表彰 (群馬県町村議会議長会) 傳田 創司元議長
- ◆議員27年表彰 (全国町村議会議長会) 阿部 源三元議員

事務局表彰

- ◆事務局長5年表彰 (群馬県町村議会議長会) 矢野 義夫元局長
- ◆事務局職員7年表彰 (群馬県町村議会議長会) 深代 和恵主査

群馬DC

デスティネーション
キャンペーン

2011.7.1-9.30

ただいま開催中!



DC in みなかみ

期間中、毎日なにかが
開催されています。
みなかみの魅力を
再発見してみましょう。



詳しくは、電話・ホームページ・パンフレット等でお問い合わせ下さい。
みなかみ町観光協会 <http://www.enjoy-minakami.jp/>

DC (デスティネーション) とは?
JRと群馬県及び県内の自治体・住民・企業などが協力し合い、日本中に宣伝活動を展開し、全国から誘客を図る大型観光キャンペーンの略称です。

チャンス!

「みなかみ」の魅力
全国に伝える
大チャンスです!!

みなかみ
CM
放映中!



できること

「歓迎」の気持
ちは、お客様に親切な人が住む町の良さを伝えます。
そして私たちは尚一層、誇りを持って暮らせます。



群馬県情報

群馬県の楽しいキャンペーンもたくさん。お得情報など詳しくは、電話・ホームページ・パンフレット等でお問い合わせ下さい。

群馬県 (DC公式ページ)
<http://gunma-dc.net/>

★8月からのイベント情報★

8月	
13 [±] ~ 15 [㊦]	日本一小さな花火大会
15 [㊦]	竹とんぼ大会
16 [㊦]	みなかみ祭り
21 [㊦]	望郷ラインセンチュリーライド
28 [㊦]	テサント 藤原湖マラソン 赤谷湖上花火大会
9月	
12 [㊦]	指月会
17 [±]	駅からハイキング



せっかくの機会です
で、このDCキャンペーンをよそからのお客様の物だけにせずに、ぜひ町民の皆さんにも参加していただきたい。
そしてこのみなかみ町の素晴らしき素敵さを再発見していただきたいと思ひます。
林 一彦

いろいろなイベントが盛りだくさんです。
また、ラフティングやバンジージャンプ・たぐみの里や谷川岳ハイキングなど既存の観光アイテムにも、新たなお客様が訪れているようで、うれしい限りです。
蒸気機関車「C61
20」復活運転や谷川岳天神平星の鑑賞会など、

あ
と
が
き
暑中お見舞い申し上げます。
ただいま、「心にググっとぐんま わくわく体験新発見」群馬DCキャンペーン実施中です。
みなかみ町関係では、